

長ネギ (サカタ永吉一本冬)

情報提供：神奈川県平塚市在住 K様 (62276) 2014年12月28日

例年より収穫が1週間早まり、収量が1反当たり約1トン増加しました。
葉の上部の葉枯れが少なく、病気が広がらず、虫害も減少しました。

特長

- 例年8tの収量が、今年は9tになり、反当り約1t増加しました。
- 例年に比べ葉の色が良く、濃い緑が常にキープされ、地上部の茎が平均5cmほど長くなり、白根の成長が早く、特に「白根の太り」が良く、大きく成長しました。
- 夏の乾燥による葉先枯れが減少し、生育の停滞がありませんでした。
- スーパーER未使用時に比べ、土壌の環境がさらによくなり、明らかに害虫の被害が減少しました。

栽培地状況

- 神奈川県の中央に位置し、黒ボク土と赤土の混合土壌で、40アール栽培しています。
- 毎年、牛糞堆肥2t、落ち葉(広葉樹)も1t入れています。
- 年間通して、長ネギ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーを栽培しています。

施用状況

＜2014年～＞ 10アール当たり

	日付	希釈倍率	施用量
種まき時期	3/ 10		
定植時期	5/ 20		
土壌灌水	8/ 15	1000倍	200ℓ
作物への散布	8/ 30		
	9/ 15		
	9/ 29		
	10/ 15		
収穫時期	11/ 8～2月まで順次収穫		

生産者の声

- 追肥肥料として1反当り、ERボカシ1t、魚粉100kgを使用しました。
- 夏場の害虫の被害が減少したのは、ネギの生長の早さに大きく影響していると思います。
- 害虫の被害が減れば、さらに収量の増加が見込まれると思います。
- ネギの白根の成長が早い為、茎が折れやすくなるので、生え際からの折れを予防する為にも、こまめな土寄せが必要となります。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。